

# 「ゼロ」を「マイナス」に しないベリカット

## ■《ベリカット》導入のきっかけは

5軸加工機の導入がきっかけです。車のヘッドライト向け金型を製造していますが、車の流線形に伴い、ランプもより立体的で緻密な加工が増えており、製造の効率化のために5軸加工機を購入しました。その際「衝突防止にシミュレーションソフトは必須、ベリカットなら安心」との判断で導入を決めました。思い返せば、どれだけベリカットに救われたことか。今も欠かせない存在として大活躍しています。

## ■《ベリカット》の魅力は

これまで「凡ミス撲滅」に最大限の効果を発揮してくれています。実際、5軸機導入から立ち上げまで1週間でしたが、ベリカットを通じ、同時5軸加工に関するさまざまな問題発見、解決を繰り返し、早期立ち上げに確実に貢献してくれました。一度でも事故を起こせば大損害ですが、今まで一度も事故が起きていないのは、間違いなくベリカットのおかげ。魅力というか、もはや必然ですね。

## ■他に有益な特長は

金型メーカーは同じ仕事が2つとないので、毎回プログラミングを行いますが、現場に提出した指示書通りセッティングし、自分の指示に間違いがないことを保証する使い方ができるのは、便利だと思います。また、ベリカットを通じ、加工機に関する知識習得ができますし、綺麗に画面を再現してくれるるので、加工品質を確実に把握できるのも良いですね。

## ■《ベリカット》を通じて感じることは

「ベリカットで確認した」というと、周囲に理解してもらえることが多く、ソフトとしての知名度の高さを実感します。シミュレーションソフトは、会社にプラスをもたらすだけでなく、マイナスをマイナスにしない点も魅力のひとつ。ベリカットは《ゼロをマイナスにしないためのツール》だと強く感じます。

## ■《ベリカット》検討中の方にメッセージを

やはりマイナスの出費を生まないために絶対必要なツールだと感じます。5軸加工は、気をつけようと思っても気付けられない世界なので、道具に頼って防ぐのが最適。防げなかった時の損害(修理代、機械停止、性能低下など)を想像すると計り知れません。絶対に設備自体を壊したくないですし、そのためにもベリカットは必要不可欠なアイテムですよね。



TAKEDA

<http://www.takedasuntec.co.jp/>

### 回答者

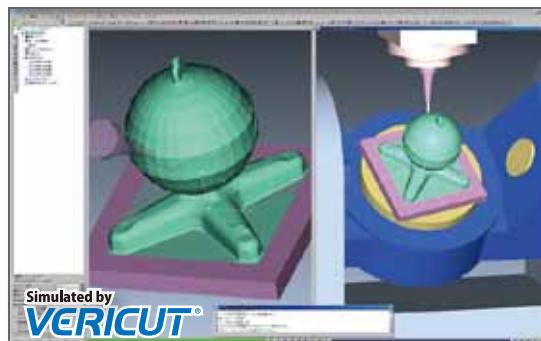
竹田サンテック株式会社  
技術部総括課  
奥山友和 氏

### ■Profile

「ものづくりの世界で働く」という強い思いから、NCプログラマーとして入社。現在は、主に加工技術の開発を手掛け、社内に導入する機械や工具、周辺機器、CADCAMの選定からテスト、立ち上げまでを一手に行う。今は「道具のより正確な使い方を見つけ出し、いかに上手く使いこなすか」に重きを置きながら、日々加工技術と向き合い続けている。



弊社は、樹脂成形金型の設計・製造、および受諾加工（切削・部品・小型～大型グラファイト電極等）を行っております。近年、D500（牧野フライス）を導入。深掘り・焼き入れ型の加工を得意とし、加工法の研究・改善を絶やさず、日々進化する形状に対応し、満足して頂けるよう取り組んでおります。



画像提供：竹田サンテック株式会社

### ■ベリカットとは

航空宇宙産業、自動車、鉄道、金型、家電、発電、重工業など、世界中の生産現場で運用されている工作機械の加工シミュレーションソフトウェア。